

ひらい なおたか
平井 尚隆さん

JICA 草の根技術協力事業

案件名：高齢化対策としての介護予防事業の支援

実施団体：やすらぎ福祉会

2021 年 5 月 30 日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※ 中国新聞社の許諾を得ています

日本の介護予防法実践

高齢化のスピードが世界で最も速い国の一つベトナムで、高齢化率が最高の日本で行われている介護予防事業を実施する。私が所属する社会福祉法人やすらぎ福祉会（岡山市北区）は 2017 年 11 月、国際協力機構（JICA）草の根技術協力事業としてハノイで取り組みを始めた。ベトナム保健省をパートナーとする「高齢化対策としての介護予防事業の支援」である。介護予防の機能訓練（筋力維持の運動）、^{こうくう}口腔ケア、栄養改善といった高齢者にとって重要な項目を、対象地域の高齢者のコミュニティ力所で行った。



転倒防止の体操に取り組むベトナムの高齢者

「家族に心配をかけずに健康で一緒に暮らしたい」「自分の足で買い物に行きたい」など高齢者はそれぞれに目標を持ち、週 2 回事業に参加する。私たちはコミュニティに足を運ぶたびに笑顔で出迎えられ、「体操を続けて血圧が安定した」「ご飯がおいしい」「一人で歩けるようになって家族も喜んでいる」と報告を受ける。また、体操後にお茶を飲みながらおしゃべりするのを楽しみにする方も多く、社会的な交流も活発になったように思う。

現在、ベトナムから来た多くの若者が人材不足の日本の介護現場で活躍している。

「高齢化対策としての介護予防事業の支援」は 21 年 4 月で終えたが、津山市と社会福祉法人やすらぎ福祉会はベトナム保健省と協働し、この事業のさらなる広がり与人材育成を目標とした新たな事業を始める予定だ。日本の介護予防事業がベトナムの高齢者のためにさらに生かされ、共に支え合う関係が継続、発展するよう支援していく。